



編輯局報情

週報

號日八十二月十

思想戰讀本 ⑦
思想戰と文化

戦争生活と遵法
歸農開拓民の更生金庫利用
一般家庭の鐵銅特別回収について
重要物資の強制買上

五錢

316號

昭和十七年十月二十一日

昭和十七年十月二十一日

内閣印刷局印刷發行

週報は民翼賛の道しるべ

10月抽籤 貯蓄債券 當籤番號表 (其の一)

支拂開始期 11月1日

支拂場所 日本勸業銀行本支店、出張所、代理店及集配郵便局

全當籤番號掲載紙 (番號表中央部ハ別冊、括弧内金額ハ別冊)

昭和十七年10月 大藏省・日本勸業銀行

10744	22167	34259	47521	58171	70438	83399	93383	11300	4471	7263	11390	14460	18401	21747
11037	22436	34339	47728	58229	70527	83498	93486	11352	4547	7291	11394	14470	18403	21847
11248	22520	34410	47778	58602	71099	83498	93486	11366	4633	7329	11464	14548	18456	21895
11314	22691	34620	47803	58801	71507	83537	93613	11382	4662	7335	11470	14552	18505	21942
11378	22810	34847	48002	59211	71664	83603	93648	11394	4699	7351	11476	14560	18543	21994
11544	23328	34977	48169	59394	71801	83673	93655	11428	4739	7354	11482	14568	18581	22005
11857	23328	35297	48169	59394	71801	83673	93655	11442	4760	7370	11484	14576	18619	22016
12093	23423	35317	48177	59447	72228	83763	93648	11456	4774	7386	11490	14584	18657	22027
12488	23429	35466	48620	59925	72500	83823	93625	11470	4827	7418	11498	14602	18695	22038
12592	23561	35679	48649	60028	72722	83925	93674	11484	4833	7424	11504	14610	18733	22049
12584	23673	35944	48774	60028	72722	83925	93674	11498	4840	7430	11510	14618	18771	22060
12722	23979	35911	48937	60030	72825	83923	93625	11512	4858	7446	11516	14626	18809	22071
12748	24011	35923	48940	60209	73117	84014	93434	11526	4866	7452	11522	14634	18847	22082
12793	24367	35928	49069	60349	73437	84151	93220	11540	4874	7458	11528	14642	18885	22093
12793	24367	35928	49069	60349	73437	84151	93220	11554	4882	7464	11534	14650	18923	22104
12888	25017	35987	49237	60436	73504	84271	93203	11568	4890	7470	11540	14658	18961	22115
12920	25141	36320	49264	60465	73568	84276	93203	11582	4898	7476	11546	14666	19000	22126
12966	25697	36564	49412	60693	73609	84314	93203	11596	4906	7482	11552	14674	19038	22137
13294	25697	36564	49412	60693	73609	84314	93203	11610	4914	7488	11558	14682	19076	22148
13325	25872	37024	49586	60908	74217	85143	93203	11624	4922	7494	11564	14690	19114	22159
13367	26116	37934	49764	60916	74329	85262	93203	11638	4930	7500	11570	14698	19152	22170
13367	26116	37934	49764	60916	74329	85262	93203	11652	4938	7506	11576	14706	19190	22181
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11666	4946	7512	11582	14714	19228	22192
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11680	4954	7518	11588	14722	19266	22203
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11694	4962	7524	11594	14730	19304	22214
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11708	4970	7530	11600	14738	19342	22225
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11722	4978	7536	11606	14746	19380	22236
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11736	4986	7542	11612	14754	19418	22247
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11750	4994	7548	11618	14762	19456	22258
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11764	5002	7554	11624	14770	19494	22269
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11778	5010	7560	11630	14778	19532	22280
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11792	5018	7566	11636	14786	19570	22291
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11806	5026	7572	11642	14794	19608	22302
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11820	5034	7578	11648	14802	19646	22313
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11834	5042	7584	11654	14810	19684	22324
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11848	5050	7590	11660	14818	19722	22335
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11862	5058	7596	11666	14826	19760	22346
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11876	5066	7602	11672	14834	19798	22357
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11890	5074	7608	11678	14842	19836	22368
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11904	5082	7614	11684	14850	19874	22379
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11918	5090	7620	11690	14858	19912	22390
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11932	5098	7626	11696	14866	19950	22401
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11946	5106	7632	11702	14874	19988	22412
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11960	5114	7638	11708	14882	20026	22423
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11974	5122	7644	11714	14890	20064	22434
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	11988	5130	7650	11720	14898	20102	22445
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12002	5138	7656	11726	14906	20140	22456
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12016	5146	7662	11732	14914	20178	22467
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12030	5154	7668	11738	14922	20216	22478
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12044	5162	7674	11744	14930	20254	22489
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12058	5170	7680	11750	14938	20292	22500
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12072	5178	7686	11756	14946	20330	22511
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12086	5186	7692	11762	14954	20368	22522
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12100	5194	7698	11768	14962	20406	22533
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12114	5202	7704	11774	14970	20444	22544
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12128	5210	7710	11780	14978	20482	22555
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12142	5218	7716	11786	14986	20520	22566
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12156	5226	7722	11792	14994	20558	22577
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12170	5234	7728	11798	15002	20596	22588
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12184	5242	7734	11804	15010	20634	22599
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12198	5250	7740	11810	15018	20672	22610
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12212	5258	7746	11816	15026	20710	22621
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12226	5266	7752	11822	15034	20748	22632
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12240	5274	7758	11828	15042	20786	22643
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12254	5282	7764	11834	15050	20824	22654
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12268	5290	7770	11840	15058	20862	22665
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12282	5298	7776	11846	15066	20900	22676
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12296	5306	7782	11852	15074	20938	22687
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12310	5314	7788	11858	15082	20976	22698
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12324	5322	7794	11864	15090	21014	22709
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12338	5330	7800	11870	15098	21052	22720
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12352	5338	7806	11876	15106	21090	22731
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12366	5346	7812	11882	15114	21128	22742
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12380	5354	7818	11888	15122	21166	22753
13460	26407	38104	49768	61358	74611	85286	93203	12394	5362	7824	11894	15130	21204	22764

露光量違いにより重複撮影

少國民進軍歌

軍事保護院、陸軍省、海軍省撰定、文部省検定

♩ = 120

一 ト ド ロ ク 一 ト ド ロ ク ア シ オ ト ハ
ニ ひ び く よ 一 ひ び く よ う た ど 表 は
三 ヒ ラ メ ク 一 ヒ ラ メ ク ア ノ ハ タ ハ
四 よ ん て る 一 よ ん て る あ の こ 表 は

オ ク ニ ノ タ メ ニ キ ヌ ツ イ 一 タ
セ ん し を さ れ た ま オ ら 一 の
ほ ン チ ノ ク キ ウ オ モ フ 一 キ
ま れ の む じ と も ろ と 一 一

ス ウ シ マ モ リ ボ ク タ チ ガ キ ウ エ イ ケ シ ノ ト モ ト ユ ク
ち り ぎ の こ こ ろ ら け つ つ い て か ん し 一 オ ナ ム ぼ く た ち が
チ ヒ サ イ ナ ガ ラ ボ ク タ チ ガ マ ケ テ ナ ル カ ト ム ネ ハ ッ チ
み ら い を に な ぶ ぼ く た ち が ゆ り ひ の 一 と き を 重 つ て ち

ソ ロ フ ホ ウ グ ソ ロ フ ホ ウ グ ア シ オ ト ダ
う た フ コ ク か だ う た フ コ ク か だ ア キ シ カ ト よ ル ダ
ア フ グ コ ク か だ う た フ コ ク か だ い シ カ ノ リ く
な な つ う み だ な な つ う み だ い シ カ ノ リ く

少國民進軍歌

一 とどろく とどろく 足音は
お國のために傷ついた
勇士を護り 僕たちが
共榮團の友とゆく
揃ふ歩調だ 足音だ

二 ひびくよ ひびくよ 歌聲は
戦死をされたますらをの
忠義の心うけ継いで
感謝で進む僕たちが
うたふ國歌だ 君が代だ

三 ひらめく ひらめく あの旗は
戦地の苦勞おもふとき
小さいながら 僕たちも
負けてなるかと 胸張って
仰ぐ國旗だ 日の丸だ

四 呼んでる 呼んでる あの聲は
はまれの童兒ともるともに
未來を擔ふ僕たちが
雄飛のときを待つてゐる
七つの海だ 大陸だ

週報

第三十六號 十月二十八日

戦争生活と遵法

司法省：二

重要物資の強制買上

商工省：七

轉賣部 市民の更生金庫利用

拓務省：六

農林省：二

一 農産物の買上特別回教について

思想戦讀本

(七)

思想戦と文化

大正十三年十月二十八日

週刊日誌

十月十五日(木)

支那軍第五十七回(重慶) 第二十六回、第二十七回 論功行賞の御沙汰あらせらる

統制物資運渡制限等に關する件を公布實施

第一回 鮮米豫想收獲高(九月下旬)は一千五百四十萬石の旨、朝鮮總督府發表

十月十六日(金)

天皇、皇后兩陛下、諸國神社に行幸啓あらせらる

大東亞戰爭第一回論功行賞、支那軍第五十八回(重慶)上、西支論功行賞の御沙汰あらせらる

十月十七日(土)

宮中、神嘗祭の御儀を執り行はせらる

十月十八日(日)

米軍、リベリア(西アフリカ)に進駐

密國本上を突撃し(九月二十八日)、捕虜と云つた米國機塔生者の中、入道が無引し六者を軍律に照し、陸運處分した旨、大正陸軍省豫備部員誌を發表

南方(南洋羣島)に新聞政策を決定

十月十九日(月)

海軍省、アンソン艦、ハウ艦、五、ワグネル艦に、鎮守府の演習、英海軍省發表

十月二十日(火)

米軍、陸軍、空軍、海軍各方面に、進駐

少國民進軍歌

軍事保健院、陸軍省、海軍省編定、文部省検定

♩ = 120

一 ト ド ク ニ ト ド ク ア シ オ ト ハ
ニ ヒ ビ ク ヤ ニ ヒ ビ ク ヤ ウ タ ジ マ ハ
三 ヒ ト ヲ ト ヒ ト ヲ ト ヒ ト ヲ ト
四 ヲ ト ヒ ト ヲ ト ヒ ト ヲ ト

少國民進軍歌

とどろくしどろくしどろくし
 足音は
 如雷の如くに響ついた
 勇士を導き、僕たちが
 去來國の友と戦つて
 進歩歩進だ、足音だ
 三 ひびくよ、ひびくよ、歌聲は
 戦死をさげすまずその
 忠義のしるしに
 感謝して進み僕たちが
 うたふ國歌だ、君が代だ
 三 ひらめく、ひらめく、の歌は
 戦場の苦勞おもふとも
 小さいながら、僕たちが
 負けてなるかと、進軍つて
 仰ぐ國歌だ、日の丸だ
 四 呼んで、呼んで、あの歌は
 はまれの進軍ともうたふ
 未來を願ふ僕たちが
 進軍のときを持つてゐる
 七つの海だ、大陸だ

露光量違いにより重複撮影

週報 第三一六號 十月二十八日

戦争生活と遵法

司法省：三
 重要物資の強制買上：商工省：七
 歸農開拓民の更生金庫利用
 拓務省：六
 一般家庭の鐵鋼特別回收について
 商工省：六

思想戦讀本 (七)

思想戦と文化……………三
 大東亞戦争日誌……………三

週日誌

- 十月十五日(木)
 - ▽支那事變第五十七回(薩軍第二十六回、第二十七回)論功行賞の御沙汰あらせらる
 - ▽統制物資護護制限等に關する件を公布實施
 - ▽第一回鮮米豫想收穫高(九月十日現在)は一千五百四十四万石の旨、朝鮮總督府發表
 - 十月十六日(金)
 - ▽天皇、皇后兩陛下、靖國神社に行幸啓あらせらる
 - ▽大東亞戦争第一回論功行賞と支那事變第五十八回(薩軍第二十八回)論功行賞の御沙汰あらせらる
 - 十月十七日(土)
 - ▽宮中で神嘗祭の御儀を執り行はせらる
 - 十月十九日(日)
 - ▽米軍、リベリア(西アフリカ)に進駐
 - 十月十九日(日)
 - ▽帝國本土を空襲し(四月十八日)、捕虜となつた米國機搭乗者の中、人道を無視した者を軍律に照し、隠匿處分した旨、大本營陸軍報道部長談を發表
 - ▽南方軍軍地誌新聞政策要領決定
 - 十月二十日(月)
 - ▽新艦隊アンソン號、ハツ號各三千五トン、は就役中の旨、英海軍省發表
 - ▽チリ一内閣總辭職
 - 十月二十一日(火)
 - ▽米機發機、冀東北支方面に來襲、遁走

戦争生活と遵法

司 法 省

大東亞戦争の勃發以來、十一月、今や戦ひは長期戦となり、敵米英は、その豊富な資力と傳統のねばり強さを以て、尤大な軍備擴充計畫を遂行し、將來における反攻を豪語してをります。これがこれに對應して、私も銃後國民は前線と一體となり、前線の皇軍勇士に後顧の憂ひのないやうにせねばなりません。

そして、そのためには、国土防衛の重責を果すと共に、生産力を飛躍的に擴充、強化して、飛行機や戦車等の兵器をドンドン前線に送り、軍艦や船等をドンドン製造せねばなりません。

この生産力擴充の基礎として、戦時國民生活が安定してゐることが絶対に必要で、食糧その他の生活必需品の増

産が叫ばれてゐるのも、このためであり、即ち銃後の一人々々は、国土防禦の戦士であり、生産力擴充の戦士であり、また食糧増産の戦士であるのであります。

戦争生活を蝕むもの

そして今、一億國民は一體となり、協力一致して、大東亞戦争を勝ち抜

くために懸命の努力を續けてをります。例へば、さきに實施された金屬増産運動は、官民の一致協力によつて偉大な成果を挙げ、これに次いで、指導者の陣頭指揮による石炭の増産運動が力強く展開されてをり、また食糧増産のため農業者は勿論のこと、内地在營部隊の一部歸郷、學生、生徒その他の國民勤勞報國隊の活躍等によつて増産の實を擧げてをります。

この秋に當つて、銃後もまた戦陣であること忘れ、一身一家の利益だけを考へたり、少しばかりの生活の不自由に、不平や不満を抱くことは斷じて許されぬことです。

ところで、私もは、日常生活の些少なことに不平や不満を持ち過ぎはしないでせうか。例へば米が足りない、砂糖や塩、味噌がすくな過ぎるといつた不平をどこへ行つても聞かされるの

ですが、果してこれで皇軍の戦果に應へ、前線將兵の勞苦に報いることが出来るでせうか。食糧その他の生活必需品が不足することは、大戦争を遂行してゐる現在では當然のこと、私もはこれを忍受しなければなりません。

世界戦争が行はれてゐる現在、交戦國の中で物資の缺乏してゐない國は一つもありません。最近ドイツから歸朝した人の話によりますと、ドイツの戦時國民生活は、我が國の現状よりも遙かに窮屈だとのことであり、しかも、それにも拘はらず、ドイツ國民は最後の勝利を確信して、銃後の戦士として勇敢に戦つてをります。私共は、この盟邦ドイツの戦争生活を他山の石とせねばなりません。

ところで、不平や不満にも増して恐るべき戦争生活の敵は、經濟犯罪、即ち闇取引であります。闇取引の弊害に

ついては、既に皆さんもご存知の通りです。國民の中の一部の者が法令を無視して闇取引をするために、國民全般の戦争生活が脅され、國民思想上にも悪影響を及ぼし、延いては戦争遂行上の一大支障ともなるのであります。

例へば、鐵とか石炭、石油等の重要物資に關する闇取引は、生産力擴充に至大の障礙を與へ、また生活必需品である米、蔬菜、鮮魚等の食料品、木炭、薪炭等の燃料類の闇取引は、國民の日常生活を非常に毒することになります。

ところが、大東亞戦争の勃發後、従前と比べて經濟犯罪は少しも減らなればかりか、かへつて増加してゐる有様で、その上、犯罪のやり方も次第に悪質になつて來てをります。これまでは鐵や非鐵金屬のやうな重要物資の違反が多かつたのですが、最近では、生活必需品に對する違反が目立つて多くな

るべき戦争生活の敵は、經濟犯罪、即ち闇取引であります。闇取引の弊害に



重要物資の強買上

商 工 省

重要物資の買上げについては、すでに五月十五日から七月末日に亘つて任意の供出運動が行はれ、その後も機会ある毎に供出を勧奨して買上げを行つて来たのでありますが、今回、物資統制令に基づく商工省令を公布して、強制買上げを實施することになりました。すなはち、この法令によつて重要物資の所有を許される限度が指定され、この制限を超えて重要物資を持つてゐる者は、事業者たるか一般人たるかを問はず、十一月十五日までに超過分を重要物資管理団に譲渡しなければならぬのであります。この期間内に譲渡の申込みをしない者は、國家總動員法による制裁が發動されるのであります。

以下この法令の趣旨や買上げの具體的方法を説明しますが、國民各位はよくこの内容を研究されて、國家の要請する供出を正確に實行されたいのであります。

買上げの目的

帝國は皇軍の赫々たる戦勝裡に今や大東亞に不敗の雄勢を堅持することになりました。しかし今後、敵米英を徹底的に芟滅し、大東亞建設の大業を成し遂げるには、なほ一層國民の奮勵努力が必要なのであります。殊に敵アメリカは緒戦の負け戦さを挽回するため、軍備の擴張に死物狂ひとなつてゐるのであります。その巨大な生産力に物を言はせ、物の力で日本を打ち倒し得るものと信じて、生産の擴充に躍起となつてゐるのであります。

この敵を相手として、將來の決戦に備へて必勝の雄勢を確立するために、は、わが方においても戦後の生産増強に一層の努力と決意を傾けねばなりません。この意味から、政府でもいろいろの手段を講じて生産の増強に努めて

勿論のこと、配給業者から絶対に關の物を買はないやうにさせよう。衣料品や食料品その他の切符制や通帳制が實施されてゐる物は、多少の不自由はあつても、配給量を有効に使用するやうに工夫して、關の物を絶対に買はないやうにし、また切符制や通帳制のないその他の物資も、買溜めや買漁りを止め、お互ひに公平に分け合ふやうにしようではありませんか。

そのために、まづ隣組全員が一致して關の物を買はないこと、買溜めや買漁りをしないことを申合せませう。關でなければ賣らないやうな配給業者がありましたら、町内會、警察、検事局等に申告し、業者の反省を促すやうにさせよう。また隣組長や町内會長も率先して陣頭に立つて隣組員を指導し、これ等の不正行為を排撃するやうに努め、さらにこれ等の行為を根絶するた

めに建設的な方法を樹立するやうに努力していただきたいものです。

例へば、町内會が配給業者と協力して隣組單位の配給を行ひ、開取引の防止と行列買の解消に資するの一方法でせうし、需要の多い果物や蔬菜、鮮魚等の物資には、業者から私製切符を發行させ、隣組を通じて配付するの一方法でせう。

そのほか各地の事情に應じた適當な方法が必ずある筈であります。この消費者の開取引絶滅運動が徹底すれば、戦後の國民生活は必ず明朗活潑になるに違ひありません。

大東亞戦下の戦争生活は、赫々たる戦果の

中日二十八年八月八日 寫眞週報 定價十錢

☆特輯 社長を陣頭に

- ▽軍需重工業 — 三菱重工業
- ▽自動車工業 — 日産自動車
- ▽鐵道工業 — 片倉製鐵物
- ▽航空工業 — 昭和電工
- ▽軍需精密器械 — 東京時計
- ▽特殊兵器 — 中島工業
- ▽戰時輸送隊 — 東京銀行
- ▽食品増産 — 野田製油
- ▽軍靴生産 — 十代田製靴
- ▽南方離陸隊(上) — 藤田光次
- ▽近衛師團の忠誠塔委任作業
- ☆祝豊年部落常備運動會 — 長野縣
- ☆華北治安の宣傳自動車
- ☆十一月の常會で實行を申合せることから
- ☆十一月の國策こよみ

中に一周年を迎へやうとしてゐますが、未だ長期戦の第一歩を踏み出したに過ぎません。私どもは戦後の戦士として、忠誠報國、敵城奉公の誠を效し、大東亞建設に邁進しようではありませんか。

ひるのであります。しかし、このやうにして生産を増加しても、生産された物が徒らに倉庫の奥に蔵つて置かれたのでは、折角生産された意味をなさないのであつて、出来た物は、これを最も有効に利用することが何よりも肝腎なのであります。

ところが、国内における物資の状態を眺めると、工場や倉庫には、相当多量の重要物資が當分使はれる目當もなく欠伸をしてゐるのであります。これらの物資は大抵、統制経済がとられるやうになつた前後において、將來に對する不安から手當り次第に買溜められて来たのですが、當時はこの種の物資の移動が極めて亂雑、無秩序に行はれたため、重要な物資を一業者だけが獨占したり、主材料と副材料とを別別の業者が分けて抱へ込んだりして、その結果、折角大切な資材も十分利用される機会を與へられず、徒らに倉庫

の中で眠つてゐるのであります。

そこで、これらの眠つてゐる物資を一應、中央機關の手に引揚げて、業者の要求に応じて、必要な資材を必要な分量だけ迅速に配給することにすれば、業者の金利や倉敷料等の負擔も助かり、生産全般の能率も一段と躍進することになるわけですから。買上げは、業者から手持ちをとり上げてしまふことではなくて、業者から半端の資材を集めて、これを寸法を揃へて返してやる趣旨であつて、重要物資の所有者は、丁度金を銀行に預けるやうに、餘分の手持資材を管理機關に預けて、必要に応じてこれを引出したり、他の物資と振替へて貰へるのであります。

このやうな操作を行つて、業者の手持資材の彼此融通を圖れば、業者の生産も一段と圓滑に進み、ひいては國家全體の生産も一層昂揚されるのであります。これを物資の面からみても、これ

まで死蔵されてゐた物資は、こゝに初めて活用の機会を與へられることになり、恰も熔鐵爐から鉄鐵が出来上つて来るやうに、今まで忘れられてゐた物資が供出によつて新たに生産の第一線に押し出されて来ることになるのであります。つまり、死蔵の鐵一トンを供出することは、熔鐵爐からの出鉄一トンを増すことであつて、生産擴充の重要な手段に他ならないのであります。

このやうな趣旨で、第一回の買上げを五月中旬から七月一杯に亘つて全國的に行ひ、だいたひ良好な成績を挙げたのであります。しかしこの間、なほ一部には買上げの趣旨を十分理解してゐない向きもあり、殊に今後手に入ることが困難と思はれる物資については、これが國家の手に取り上げられつばなしになるものと誤解して、供出を避る傾向もあつたのであります。そこ

で今回、この趣旨を一層徹底し、遊休物資の動員に遺憾ないやうにとの目的から、重要物資の強制買上げを断行することになつたのです。

この強制買上げは、業者を不當に壓迫する意味でもなく、業者救済の趣旨でもなく、たゞ國家の生産をできるだけ高め、米英の屈服を一日も早くするために行ふのであります。従つて、供出された資材も必ず生産力擴充部門に還つて来るのであります。皆さんは、この措置の時局的な意義をよく理解され、供出に十分協力されるやう特に希望いたします。

買上げの方法

1、事業者からの買上げ

事業者からの買上げについては、後に詳しく述べるやうに、重要な原料物資を指定し、その物資の生産者、販賣業者、事業用の消費者等につき、それ

ぞれ在庫制限を指定して、超過分を十一月十五日までに重要物資管理機關に譲渡申込みさせるのであります。いまブリキ製業者を例をとれば、材料として使用する鐵鋼については、事業の用に供するための使用消費者として、後に述べるやうに三ヶ月分の在庫を許され、生産したブリキについては、生産者として生産額の一月分の保有を認められるのであつて、その他の剩餘はすべて管理機關に供出しなければならぬこととなります。

- (一) 譲渡物資名 鉄鐵、普通鋼、鐵鋼二次製品、電線、非鐵金屬、化學藥品、綿糸、人絹・スフ糸、毛糸等であり、但し輸出品等は、これから建設用資材、軍支給材料等は、これから除外されます。(後二、指定物資参照)
- (二) 譲渡申込義務者 前項の物資の生産者、加工修理業者、販賣業者、輸出入業者、事業の用に供するために

使用する者、金融業者等であり、但し左の者は、一應、供出義務者から除外されてゐます。

- 1 鐵鋼統制會、金屬工業統制會の直接會員および石炭、造船、鑛山、鐵道軌道統制會の直接會員および間接會員
- 2 電氣事業者
- 3 中央配給統制機關
- 4 貿易統制令施行規則の輸出調整機關
- 5 輸出品用原材料配給統制規則の配給機關
- 6 綿糸、人絹・スフ糸、毛糸の生産者

(三) 譲渡申込みを爲すべき數量 制限數量を超過する部分です。在庫の一ヶ月分、販賣業者は配給先の確定した部分、消費者は過去の使用実績の三ヶ月分を大體の基準として定められて

歸農開拓民の 國民更生金庫利用について

轉換先として
滿洲開拓が取
り上げられて
以來、政府で
は特に歸農開
拓民の輔導に
ついては、あ
らゆる角度か
ら慎重に工
夫をこらし、萬全を期して参りましたが、
最近、その資産と負債整理のため國民更生
金庫を利用する場合、特に便宜的な措置を
講ずることになりました。

編成主體が幹旋

一般業務方法ではしつくりしない點があ
りました。そこで今度、歸農開拓民に對し
ては、特別の取扱方法を講じ、更生金庫とし
ての立場から、開拓團の編成や開拓民の送
出に積極的に協力することになりました
が、その要點は次の通りであります。

夫をこらし、萬全を期して参りましたが、
最近、その資産と負債整理のため國民更生
金庫を利用する場合、特に便宜的な措置を
講ずることになりました。

ご承知のやうに國民更生金庫は、國家の
要請によつて轉廢業者の中小商工業者の資
産と負債を整理して、その轉廢業者を容れ
する機關であります。

申すまでもなく、中小商工業者の大陸歸
農は、不動の國策でありますから、國民更
生金庫としても、歸農開拓民に對しては出
来るだけの援助をして参りましたが、何分
にも歸農開拓民は、いろいろと特殊な事
情がともなつて参りますので、更生金庫の

一様に國民更生金庫を利用するには、府
縣再編成協議會の承認を得て所屬組合で
企業整備計畫を立て、その結果、轉廢業
する人々に限られ、これ以外の轉廢業者は、
原則として金庫の利用が出来ないことにな
つておりました。

中小商工業の轉廢業者が進捗するに
つれて、滿洲開拓に挺身しようとする轉廢
業者が次第に増加して参りました。これを
大陸歸農開拓民といつてをり、現に計畫を
進めてゐる全國百數十の農村の分村計畫に
は、相當数の轉廢業者が適宜に混入、進出
して参ります。また東京、京都を始め全國十
二都市では、轉廢業者を中核とした開拓團
の編成が行はれ、また現地でも理想的な農
村の建設に相當の實績を挙げ、今後この事
業の本質とか理想が業者に徹底すれば、ま
すます全国的に普及することが期待できる
のであります。

去る昭和十五年十月の閣議で轉廢業者の

たのであります。
但しこの場合でも、組合の整備計畫を全
く無視してよいといふのではなく、現に整
備が進められてゐる業種では、これと視み
合はせ、連絡、協力を圖ることになつてを
ります。

かやうに、この取扱によりますと、拓務
省が承認した開拓團編成主體の幹旋で大陸
歸農をしようとする商工業者は、所屬組合
の企業整備計畫の有無にかゝらず、國民
更生金庫の利用が出来るわけです。

開拓團の編成には、中小商工業者を中核
とする歸農開拓團と、農家を主とする分村
開拓團に商工業者が参加する場合とがあり
ますが、この通牒では、いづれの場合でも取
扱の対象となつてゐます。

この開拓團は、業主も従業員も同じ資格
で編成されますが、金庫を利用するもの
は、もと／＼自ら商工業を営む業主に限ら
れてゐますから、従業員や自山労働者
または業主であつても家族が營業を繼續す
る場合は、除外されます。
また理髮業、料理屋、カフェー、麻雀

俱樂部等の營業許可關係の接客業者は、こ
れまで更生金庫の取扱ひ外となつてしまし
たが、歸農開拓民になる場合どうするか
は、いま關係當局で考慮中で、これが決定
されるまでは、従来通り取扱ひ外と考へら
れてゐます。

債務の引受も實施

次に、大陸歸農開拓民の營業用資産の
評價引取は、特に迅速に行ふことが必要で
ありますので、遅くとも渡滿以前に評價を
終つて、後顧の憂ひなく新天地で活動する
やう、地方廳と金庫では、特別の考慮を拂
ひ、若し何かやむを得ない事情で評價が遅
れるやうな場合には、評價見込額の上割ま
で資金を貸出す緊急金制度を十分に活用し
て不都合を生じないやうにしてゐます。

また歸農開拓民は、遼瀋の地で、今まで
の環境とは全く異ひ、生れ變つた生活に入
るのであつて、しかも當分の間は、困難な建
設時代を覺悟せねばなりません。この場
合、とかく問題になるのは負債の整理で、
借金にしばられて、渡滿したくても身動き

も出来ないといった場合が参ります。そこ
で金庫では、事情を十分に調査した上で、
眞に援助が必要と認められる場合には、資
産の引受價額を見返りとする貸付金額の外
に一定金額を限つて、保証人等のむづかし
いこととなるべく抜きにして、債務の引受
をします。この場合には、債權者の方でも
事情を諒解し、なるべく債務を減免して、
國策の線に沿ふ歸農開拓民を援助されるや
うに願ひたいものです。

なほ以上の外、組合の共助方法につ
いても、歸農開拓をしようとする場合には、他
の轉廢業者と同様の恩恵に均霑しなければ
なりません。

即ち、その所屬組合が企業整備計畫に基
づいて共助計畫を樹てた後でしたら、當然
共助金の交付を受けるべきであります。た
とへ共助計畫を樹てる以前に將來を見透
して轉業し、大陸開拓に挺身しようとする
業者にも、その組合の共助計畫を適度として
適用することにしました。

拓務省

一般家庭の鐵鋼特別回収

商 工 省

政府では、大東亞戰爭完遂のために必要不可欠の鐵鋼の自給態勢を確立するために、十月から來年二月までの四ヶ月の期間を切つて、第一回目の一般家庭からの鐵鋼類の特別回収を行ふことになつてをります。

皆さんの中には、軍需の盛況がすでに南方に擴く今日、南方の資源を捨てておいて國內の鐵鋼を回収しようといふのは、矛盾ではないかと考へられる方もあるかも知れませんが、船腹等の關係で、さう急にはこれ等の資源が豊富には入つて來ないばかりでなく、これ等の資源の開發のためにも、さらに澤山の

鐵鋼の回収が必要なのです。

第二回の特別回収といふこと

第三回、第四回とやるやうに

開え、「次回の分を残しておか

う」などと考へる方があ

も知れませんが、今度の最後

の特別回収です。いよいよ

も鐵鋼、または鋼の合金(例へ

ば眞鍮、唐金など)製品は、残ら

ず供出して、國家のお役に立

て、いたゞきたいのです。

特別回収は廢品を集めようと

いふのではなく、現用品、即ち

現在使つてゐる物とか、今使つ

てゐなくとも、使はうと思へば何

時でも使へる物までお國のため

に役立たせようといふもので、

この回収運動を飽くまで一般

家庭の自發的な愛國心に訴へて

やつて行かうとするものであり

ます。お寺などでは、その生命

ともいふべき梵鐘や三具足、五

具足といふやうな佛具まで供出

してゐるのですから、一般家庭

でもこれに劣らぬ愛國の至誠を

もつて、一品残らず供出して

たいきたいのであります。

しかし、現在毎日茶所を使つ

てゐる鍋釜まで、何でもかでも

出せといふのではありませんか

ら、この點、行き過ぎのないや

うにお願ひします。

なほ昨年度の回収では、三つ

の回収機關があり、一元的な回

收計畫の遂行に不便を生じまし

たので、今度政府は金屬回收統

制會社を設立して、この會社に

一元的に回収を行はせることに

したので、従つてこの會社は、

會社とはいふものの、營利を目的

としない國策會社です。政府で

も、回収といふ大切な國家の事

業を、この會社にお手傳ひさせ

るので、供出者の皆さん

に、少しの不都合もないやうに

十分監督指導をして、國策會社

たるの實を挙げさせることにな

つてゐます。

次に特別回収の要領をご

紹介させよう。(詳細は國策會社が

各家庭へまはります)

回収物件

特別回収で回収するのは鐵と

鋼及び鋼合金(眞鍮、唐金、

洋白、洋銀、赤銅、四分一など鋼を基とした

合金、現用品です。但し左のも

のは除外されます。

(一) 日常生活の必需品

(二) 危険防止上、特に必要

なもの

(三) 高度美術工藝品

(四) 特に由緒ある記念品

(五) 法令によつて備へ付を

必要とするもの

(六) その他状況によつて特

に回収を不適當と認め

るもの

但し日常生活の必需品であつて

も、代用品で間に合ふものや、

餘分にあるものは供出して

いただきたいのです。

今度の特別回収は現用品の回

收で、廢品は扱ひませんが、廢品

は撤つておいてよいといふ意味で

はなく、廢品は廢品として府屋

さんの手などを通して、どしどし

新しい鐵や鋼に生まれかほら

せていただきたいのは勿論です。

なほ廢品と現用品との區別は、

市區町村吏員、町内會長、隣組

長、部落會長などの認定によつ

て定めることになつてゐます。

實施の方法

買上方法 戸別巡回回収ま

たは持寄り回収によつて集め、

これを金屬回收統制株式會社が

買受けることになつます。

買上値段 供出物件の鑑定

秤量は、戰時物資活用協會が雇

上げた買出人が致します。

特別回収の買上價格として定

められた價格は左表の通りです。

鐵

一貫目当り

〇・三〇

鋼

一貫目当り

〇・二五

鋼

一貫目当り

〇・二〇

鋼

一貫目当り

〇・一五

鋼

一貫目当り

〇・一〇

鋼

一貫目当り

〇・〇五

鋼

一貫目当り

〇・〇〇

鋼

一貫目当り

〇・〇〇

鋼

一貫目当り

〇・〇〇

鋼

一貫目当り

〇・〇〇

鋼

一貫目当り

〇・〇〇

(又は部落會長)は、必要な事

項をこれに記入して、丙は供出

者に渡し、甲乙はこれに集計表

を添へて市區町村長(又は町内

會長へ送付し、市區町村長(又

は町内會長)は甲の傳票と集計

した集計表とを道府縣の回收事

務所(或は縣内)へ送附し

ます。

買上代金の支拂 買上代金

その他の支拂は、買上傳票とそ

の總括表の整理が済み次第統

制會社の道府縣回收事務所から

市區町村長に一括して支拂ひ、

市區町村長から供出者に支拂ひ

ことになつます。

撤去、代替物設置の工事

取り外し、修理または代替物設

置の工事は、原則として供出者

にやつていただきますが、やむ

を得ぬ場合は、統制會社で工

作費を負擔しますから、所定の

工事實施依頼書(登録員に配布さ

る)に記入し、隣組長または部

落會長を通じて回収事務所に申

込んで下さい。

供出物件の集荷 集荷は統

制會社の見地から、市區町村長

の定める適當な場所(國民學校

の校庭など、保管に便利でト

ラックの乗入れの出来る場所)に

なるべく四トン以上になるやう

に集荷します。牛馬車で輸送す

る場合には一撃分となるやうに

します。

勤務奉仕 集荷については

戰時物資活用協會で幹旋し、地

方から適當な團體に勤務奉仕

をお願いし、戸別巡回回収や、持

寄り回収したものを集荷場所ま

で運んでいただくことになりま

思想戦讀本

7

情報局

思想戦と文化

新文化の創造

いかなる時代においても、新しい文化といふものは、次ぎから次ぎへと不斷に創造されてゆかなければならぬものであり、事實またその通りに過去の文化の廢墟から新しい文化の芽が生れつゝあるので、そこに文化の流動性、發展性といふものを認めなければならぬわけであるが、固定した一時代の文化観にのみ囚は

れてゐるものは、やゝもすればこの事實を否定しようとしてゐる。

今日われらの直面せる世界的動亂は、一面から見れば世界新文化創造の生みの悩みともいふことが出来るのである。この意味において戦争は文化の母であるといふ言葉が確認されるわけであるが、文化至上主義的な考へ方に捉はれてゐる人々にはこの認識がない。それは彼等が固定した文化観を脱却し得ないからで

ある。彼等の文化観なるものは、過去から現在に亘つて世界を支配してゐるところの、ヨーロッパ文化を絕對至上とする既成觀念以外の何ものでもない。即ち、今日もなほ、文化擁護を口にしたがる文化至上主義者なるものは、その實體において米英文化擁護者に他ならないのである。彼等が二言目には「文化の中断」とか「文化の後退」とか呼んでゐるのは、ヨーロッパ文化の中断や後退であつて、文化の危機と稱するものが、その實ヨーロッパ文化の危機に過ぎないものであることに彼等は気がつかないのである。

しからばヨーロッパ文化とは何か。端的に言へば、それは知性を尊重し、その基礎の上に成立した主知主義、合理主義的な文化形態がヨーロッパ文化の本質である。換言すれば、主知主義、合理主義に裏づけられた技術的、機械的の文化に他ならないのである。従つて、そこには何の潤ひもない極めて素淡たる生活形態があるばかりで、眞に人間生活の向上の支柱となるべき倫理性といふものが稀薄となり、一切の行動規範が

合理主義の下に機械化され、直感とか、全人格的判斷とか、神性とかいふ第一義的のものを悉く失つてしまつてゐるのである。この合理主義が、例へば生産力の大規模な發展、軍事的施設の飛躍的な進歩等に貢献したことは疑ひのない事實であるが、一面、そのために精神生活の平衡化、低俗化をもたらし、生活形態のみ徒らに絢爛たらしめて、内容の貧困を持ち來すやうになつた。その極端なるものは、「宗教は阿片なり」といふ共產主義の思想であらう。

歐米文化と東洋文化

文化が、人種の差よりも寧ろ氣候、風土等の地理的條件の差によつて、それ／＼様相を異にして發達するものであることは學者の説くところである。ヨーロッパ文化もまたヨーロッパの特殊事情に基づいて發達したものであり、その發生原因からみても、東洋文化とは根本的に異質のものであることはやはり事實である。ヨーロッパのやうな比較的農耕地の少いところには、

それに應じた文化が発生し、發達してゆくことは當然であつて、地中海の海洋文化を母體とするヨーロッパ文化が、航海術の發達から商業主義となり、それが帝國主義的に發展して、今日の技術的、機械的な文化を形成するに至つたのは自然の理であるといふことが出来る。

彼等の目標とするところは、豊穡な農耕地帯への絶ざる掠奪であり、他民族の生産の收果を奪つてこれを分配することであつた。そのために交易のための商業都市の發達を見、他人の勤勞の所産に寄生するところのフェニキア、ユダヤの一種の搾取文化が築かれ、その繁榮維持のための機械的、技術的な表皮文化が次第に全ヨーロッパを支配したのである。十九世紀の文化を代表するイギリスが、現代のフェニキア人といはれるのは、商業主義文化の正系を繼いでゐるがために他ならない。

これに反して、氣候風土の關係から東洋文化なるものは、農耕、勤勞を主體とするものから發足した。河

川の流域とその下流のデルタから發足した黄河、インダス、チグリス、ユウフラテスその他、南アジア諸地方に古くから生れた文化が即ちそれである。農耕地帯と天候とが密接な關係にあることはいふまでもない。従つて、あらゆる自然現象に對して極めて徹底な態度に終始したため、そこに純真無垢な宗教心が生れて東洋文化獨特の倫理性が發揚されるに至つたといふことが出来る。即ち、土地と住民とが不離の關係において結びつき、土地を愛するが故に天を懼れ仰ぐ宗教心の萌芽となり、敬虔と謙遜と勤勞とが文化形態の基本要件となつて来た。こゝにヨーロッパ文化とは傳統を異にする獨特の文化が培はれ、近世に至り東西兩洋の接觸によつてこのことが次第に判然とし、遂に對蹠的なものとして是認されるに至つたのである。

だが、十九世紀の末葉におけるヨーロッパ文化の世界的な侵透力は凄じいものがあつて、ヨーロッパ諸國の海外植民地は、世界いたるところに見出されるやうになり、アジアもまたその風靡するところとなつた。

いはゆる近代文明の後進地域としてヨーロッパ文化圏の圏外にあつたものが、産業革命以後の近代機械文明の氾濫に、ひとたまりもなく押し包まれて、傳統文化が中斷されるとともに、怒濤の如き商業主義の機械文化が全アジアを蔽ふに至つたのである。滔々たる歐化主義がそれであり、それは先づ生活形態の上に浸潤し、次いで精神上的の變質といふ恐るべき影響へと發展したのである。

文明開化の合言葉は、かつて日本の發展性を豫約し象徴するものとして上下に受容された。一時は政治、經濟、學問、藝術、教育の諸般の文化領域において、攝取模倣いたらざるなしといふ有様であつた。しかしこのことは、過渡期的な現象として一應是認されなければならぬものであつたらう。奈良朝時代に唐制を模倣し、その文物を輸入して國家の進運に寄與したと同様、いはゆる探長抽短の進取積極の意圖からいへば、明治初年にかうした努力の拂はれたことは、正當なことでもあり、當然な事なればならぬ順序でもあつ

た。しかしながら中道にして踏み止まり、そこに日本的な反省を加へて再検討をする邊のなかつたことは、何としても遺憾千萬であつたといはなければならぬ。一旦、堤を決して氾濫を逞うしたヨーロッパ文化は、何等の修正も願慮もなく、支那事變の發生前までは、濁流滔天の勢ひであつたのである。

滿洲事變に次ぐ支那事變の發生から大東亞戰爭の勃發となつて、日本及び日本人はその本来の面目に還ることを教へられ、同時に國民的な自覺も起つて来た。緒戦以來の皇軍の輝ける戦果は、ヨーロッパ文化の最後の支持者が如何に頹廢期に頻してゐるかを、まざまざと日本國民の目のまへに見せつけた。彼等の歴史的な惡業、その惡業達成のために如何に陋劣な手段と陰謀とを用ひたかも、今日においては疑ふ餘地なきまでに暴露され、そしてこの醜い姿が、そのまゝ日本人の心奥に映し出されるやうになつたのである。

だが、過去半世紀に亘つて彼等の植を付けた文化の根といふものは容易に抜けるものではない。政治、經

濟、學問、教育、文藝等に喰ひ込んだ力は、それが組織的なものであるだけに、一舉にこれを追放することは非常に困難なものとなつてゐる。即ち、思想全般に亘るところのユダヤ化、ヨーロッパ文化の拂拭は、一朝一夕の勞を以てしては克服し得ないものであることを今日痛感せざるを得ないのである。

デモクラシーの政治が末期症狀を呈し、それが氣息奄々たるものであることは、屢次に亘る政治形態の是正によつて明らかとなりつゝある。しかしながら、その殘滓的形態が、何等かの機會において出沒しつゝあることも否み得ないであらう。組織形態が根本的に改まらない限り、當分尾を引くものと見なければならぬ。自由主義的思想が現代の知識階級層に残存してゐる間は、その再擡頭の絶無は保證し得ないのである。

また、經濟面においては、より一層、ヨーロッパ的なものを克服することは困難と思はれる。利潤のないところに生産なしといふ企業家心理と、南方における皇軍の戦果による資源獲得とは、米英的資本主義進出へ

の復原の契機となり得ないであらうか。自由經濟の米英的またはユダヤ的方式を踏襲しなければ、國力の發展は期し得ないとする舊觀念の交際が困難とすれば、大東亞共榮圈の建設は一片の理想案に過ぎないものとなり終つて、まかり間違へば五十年、百年の後には、イギリスの踏んだ道を進むやうなことになるはしないか。

ドイツのシュプランガー教授は、東京における講演においてヨーロッパ機械文化の行詰りを語り「第一次ヨーロッパ大戦を一轉機として、特に東洋の高度文化諸國においては、西洋流の技術、經濟、政治、組織に同化した時代を經過した後に、再び自己本來の特質に目覺めて來たといふ重大な變化が生じて來た。彼等は自己の民族性、國民性に對する意義を強めて來た。彼等は古來の尊い宗教的・倫理的確信に立ち戻つた。彼等は自己独自の倫理的・政治的使命を認識した。」(文化哲學の諸問題)と言つてゐる。西洋人自體がヨーロッパ文化の行詰りをいひ、東洋の覺醒を口にしている際、日本の有力な經濟人が、依然としてヨ

ロッパ文化の模倣追及により、その余喘を保たうとしてゐるのは、時代錯誤といふか、まことに悲しむべきことといふ外はない。

學問がヨーロッパ文化のそのまゝの輸入品であり、功利、實證主義の傳導體に過ぎないことは、今日においてはすでに反省の時期を越えて、明證の時代に入りつつあるかに思はれる。だがその根柢に横たはるところの西歐的な組織形態は、學問への反省をすら悉く鈍らしてゐるやうに考へられる。思惟の方法がヨーロッパ的に變改されてしまつた今日、これを改めることは容易な業ではないであらう。

藝術の部面においてはどうかであらうか。大東亞戦争の勃發以來、敏感な文筆人が多年の混迷から脱却しようとの焦躁をみせてゐることは明らかに看取できる。「日本文學報國會」が結成されたのもその表現であらう。今や進んで學道に根ざした國民的な藝術を創り出さうとする新機運が動いてゐることも確かである。しかし多くの中には、やゝもすれば過去の華やかなりし

夢を追うて、それへの憧憬のために信念の確立を妨げられてゐる者もあるかに思はれる。また、西歐文學の後塵を拜する感覺や敘述の方式や、それに内包されるところの人生觀なり社會觀なりが、完全に地を拂つたと稱し得まい。

生活と文化

生活の面におけるヨーロッパ文化の浸透については、これは目に餘るものがある。安易な歐化主義が、生活の利便と向上との標識の下に如何に民族生活の頽廢と傳統の破壊に役立つたことか。例へば、住宅の拂底とか人口の都市集中とかいふ客觀狀勢の推移によることも勿論であるが、アパート生活が個人主義的のものであること、又は個人主義觀念を助長するものであることは否定できない。日本人なるが故にアパート生活においても隣保互助が可能であり、特殊な社會生活を營むことが出来るのであるが、しかしこの割據獨善の生活様式が無限に續けられるとすれば、いはゆる家族制度の

習風良俗といふものは地を拂ふに在るであらう。ヨーロッパ文化の他の特長とするところは、分業主義から細分化に移行するところである。これが功利主義の觀念と個人主義思想に基づくものであることは明らかであるが、このために日本人の生活様式が変えられ、傳統的な良俗が破壊され、家族制度の衰落が招来されるに至れば、これは山々しき大事であるといはなければならぬ。

ハリウッド的映畫のために、青年子女の風俗が僅か十年足らずの間に驚くべき變化を來したことは、何人にも看取し得るところであらう。映畫や演劇が、風俗に及ぼす影響の大なるはいふまでもないが、恐るべきは思想生活への徐々の侵害である。生活形態の變化は、單に生活様式の變化のみに移るものではなく、形から心へ、心から魂へと浸蝕してゆくことを思はなければならぬ。街頭の女人風俗の變化は、直ちに家庭生活の變調を呼ぶのであつて、浮薄なアメリカ映畫と、それ

を倣ふ日本映畫とが、日本帝國の子女をして物心兩面においてアメリカ化せしめたことは、何としても否定し得ない事實であるばかりでなく、文化とはかくあるべきもの、文化生活とはかくあるべきもの、との誤れる文化觀を植へ付けた一事こそは、千秋の恨事であつたといはなければならぬ。

生活を變へて悦ぶことと、生活を豊かにするといふことは同じではない。映畫の場合、生活を變へて悦樂に耽るといふ享樂面に重點があつたので、決して生活を豊富にするための素材とはなり得ず、却つて積弊と惰氣と虚無との間に身を投じ、眞個の自我の生命を徐徐に削り去つた結果を招いたものであるといふことが出来るであらう。最近までの青年子女の精神生活がどんなものであるかは、深く探究する必要のないほどまでに、歴然として表示されてゐたことを思へば、外來文化の思想的影響について慄然たらざるを得ないのである。

文化至上主義と思想謀略

思想戦は決して思想戦の形を取つて來るものではない。さまざまの文化形態を通じて徐々に、しかも至つて巧妙に侵入して來るものである。言論、文章、學術を以て眞向から來るものは、初めからその正體が明らかであるから、これを防止することはさまで困難ではないのであるが、實生活の面から來るものは表面を擬装し、日常の行動に即して來るために、これを捕捉して撃滅することは容易ではない。文化生活の名の下に、歐化主義の侵入して來ることは、日本を植民地化する前提とみて差支へないのである。

いはゆる文化主義者なるものは、その本質において歐化主義と異るところなく、英米への文化的轉屬下に日本を置かんとする自覺なき敗北である。即ち、文化至上主義といふものは、その實ヨーロッパ文化の至上絶對を認めるものであつて、思想的にすでにヨーロッパ勢

力に克服されたものといふことが出来るであらう。

文化主義者が文化といふ言葉に魅力を感じることには、われらの想像以上のものがあるやうである。一つには、文化といふ言葉の中にあらゆる進歩性が含まれてゐると思ひこむ輕率から來てゐると思はれる。勿論、眞の意味における文化なるものは、個人生活においても、國家生活においても必要なものであるに違ひないが、すべての進歩、發展の分野が文化領域のみにあると思ひ込む先入觀から來る妄信と尊外内卑の心境とが、冷靜な批判と辨別とを妨げてゐるのである。

も一つは、先にもいつた文化の流動性、發展性を認めることの出来ない既成文化の狂信者が、彼等の是とするところのものが既に前世紀的のものとなつたととに氣が付かないところから、文化の擁護とか危機とかいつてゐるのである。かうした回顧派が無自覺症狀において彼等の主張に執着する場合は、やがて、自然消滅の運命に入るものとも考へられるが、この事實を

承知の上でなほ且つ主張するといふにおいては、断じて許容し得ないのであり、新文化創造の途上に横たはる最大の支障としてこれを排撃しなければならぬ。科學や藝術の超國家性からして、文化擁護を叫び、或ひは文化の中断を歎くものもあるやうである。しかし、これは自國民の民族性に對して自信がなく、進んで新文化を創造する熱意のない者の繰り言として斥けなければならぬ。さらにこの考へ方は、十九世紀ヨーロッパ文化の殘滓幻影を追ふものであつて、唯物文化心醉の偏見のぬけ切れぬものといはざるを得ない。唯物的な考へが、その全面に亘つて行詰りの状況にあることは、ヨーロッパ文化の没落過程が何によつて齟齬されつゝあるかをみれば自ら明らかであらう。

思想戦の遂行にあつてわれらの目標とするところは、米英的ユダヤ文化の掃蕩と撃滅となればならない。戦ひはいよいよ長期戦の段階に入つたが、長い月日の間には豫期しない事態も起るだらう

大東亞戦争と日本文化の確立

思想戦を戦ひ抜くには、どうしても國內に残存する文化面における米英的なものを根絶しなければならぬとみなければならぬからである。

ない。彼等の文化謀略の浸潤面はかなり廣汎かつ深刻になつてゐるのであるから、これを淨化するまでには相當の日子を要するものと思はれる。文化に對する觀念をこの際、全面的に改めなければならぬ理由はここに在る。

要するに、世界觀の對立が今日の思想的混亂を來してゐるのであるが、自由主義的な世界觀を克服してしまはなければ、思想的な歸一は齟齬されないのであつて、自由主義的個人主義思想の殘滓があらゆる方面に根を張つてゐる間は、ヨーロッパ文化の驅逐は困難である。わが國には、なほいまだ、今日の世界的動亂を目して、單に全體主義國家對デモクラシー國家間の物に關する争ひであると思つてゐるものが多い。即ち、それはルーズヴェルトの世界觀を一步も出ないものであるが、かうした米英的な物の見方をまづ改めてかゝらなければならぬ。それがためには、この世界觀の素地となつてゐる自由主義的民主主義思想をあらゆる文

化部面から洗ひ淨めなければならぬであらう。思想と文化とは、本來、一體不可分のものであつて、あらゆる觀念の實踐面は、文化推進の名の下に集結されてゐるのである。もしそこに謀略的な意圖が加はるものとすれば、これは明らかに征服、被征服の觀念の伴ふものであり、文化ルートの悉くが砲彈の輸送路と化し終るのである。文化の本質に對して盲目なほど危険なものはない。

今や大東亞戦争はいよいよ長期戦の段階に突入したが、これを光榮ある勝利の彼岸に戦ひ抜くためには、日本の文化もまた總力をあげて戦線に動員されなければならぬ。即ち、醇乎たる日本文化の確立、宣揚こそ、大東亞戦争の興廢を決する鍵の一つである。その日本文化の確立とは、すべて、皇國の道に則り、國體を明徴にすることから發するのであつて、深く日本世界觀に徹することこそ、あらゆる文化活動の根本であることを銘記すべきであらう。

編輯局報情

報週

日四月一十

官廳の新機構

大東亞省の設置
内外地行政の一元化
行政簡素化と新機構一覽

家族手當問答

經營責任者の陣頭指揮
南太平洋海戦の戦果

317號

昭和十七年十一月一日

五銭

週報は民翼賛の道しるべ

10月抽籤 貯蓄債券 當籤番號表(共ノ三)		報國	
支拂場所 日本勸業銀行本店・出張所・代理店及集配郵便局		報國	
全當籤番號掲載紙 官報 債券時報號外 (實額表中文字ハ四角、括弧内金額ハ附屬金)		報國	
昭和十七年十月 大藏省・日本勸業銀行		報國	
73214	75865	78378	81124
73215	75866	78379	81125
73216	75867	78380	81126
73217	75868	78381	81127
73218	75869	78382	81128
73219	75870	78383	81129
73220	75871	78384	81130
73221	75872	78385	81131
73222	75873	78386	81132
73223	75874	78387	81133
73224	75875	78388	81134
73225	75876	78389	81135
73226	75877	78390	81136
73227	75878	78391	81137
73228	75879	78392	81138
73229	75880	78393	81139
73230	75881	78394	81140
73231	75882	78395	81141
73232	75883	78396	81142
73233	75884	78397	81143
73234	75885	78398	81144
73235	75886	78399	81145
73236	75887	78400	81146
73237	75888	78401	81147
73238	75889	78402	81148
73239	75890	78403	81149
73240	75891	78404	81150
73241	75892	78405	81151
73242	75893	78406	81152
73243	75894	78407	81153
73244	75895	78408	81154
73245	75896	78409	81155
73246	75897	78410	81156
73247	75898	78411	81157
73248	75899	78412	81158
73249	75900	78413	81159
73250	75901	78414	81160
73251	75902	78415	81161
73252	75903	78416	81162
73253	75904	78417	81163
73254	75905	78418	81164
73255	75906	78419	81165
73256	75907	78420	81166
73257	75908	78421	81167
73258	75909	78422	81168
73259	75910	78423	81169
73260	75911	78424	81170
73261	75912	78425	81171
73262	75913	78426	81172
73263	75914	78427	81173
73264	75915	78428	81174
73265	75916	78429	81175
73266	75917	78430	81176
73267	75918	78431	81177
73268	75919	78432	81178
73269	75920	78433	81179
73270	75921	78434	81180
73271	75922	78435	81181
73272	75923	78436	81182
73273	75924	78437	81183
73274	75925	78438	81184
73275	75926	78439	81185
73276	75927	78440	81186
73277	75928	78441	81187
73278	75929	78442	81188
73279	75930	78443	81189
73280	75931	78444	81190
73281	75932	78445	81191
73282	75933	78446	81192
73283	75934	78447	81193
73284	75935	78448	81194
73285	75936	78449	81195
73286	75937	78450	81196
73287	75938	78451	81197
73288	75939	78452	81198
73289	75940	78453	81199
73290	75941	78454	81200
73291	75942	78455	81201
73292	75943	78456	81202
73293	75944	78457	81203
73294	75945	78458	81204
73295	75946	78459	81205
73296	75947	78460	81206
73297	75948	78461	81207
73298	75949	78462	81208
73299	75950	78463	81209
73300	75951	78464	81210

(本書の大きさは固定規格[A5]判)